

今日のシライ中

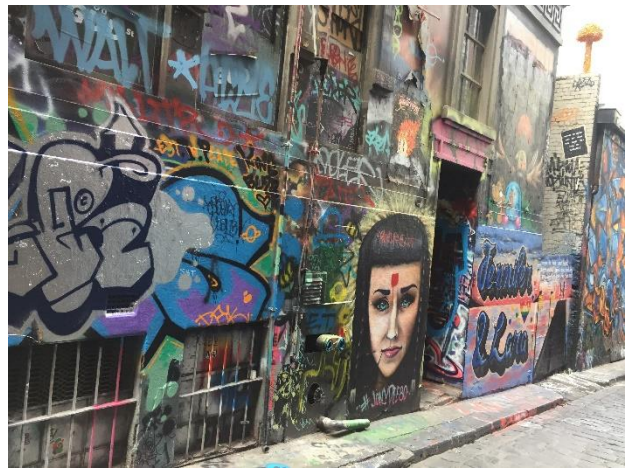
学習相談員 メッセージ

ここが僕のアナザースカイ in メルボルン

メルボルン。そこは、僕が初めて踏んだ異国の土地であり、人とのつながりの大切さを感じた土地である。

大学一年の夏、僕はその身とバックパックひとつで単身オーストラリアへ一週間の旅に出かけた。

当時の僕は、英語を読めはすれど、会話をうまくするなど到底できなかった。そこで僕は電子辞書片手に身振り手振りでなんとか自分の意思を伝えようと奮闘していた。会話ができないということがこんなにも孤独を感じるとは思いもしなかった。



宿は10人一部屋のドミトリー。日本人は僕以外一人もいない。しかも、その時期ちょうどメルボルンは就活時期であり、ルームメイトはみんな就活生で忙しいようであった。そんな状況で話し相手などできるはずもなく、寂しい思いを抱えながら眠りにについていた。初めて日本が恋しく感じた。

そんな中でも、僕は、時には教会外のベンチで、時にはバーでたくさんの人たちに話しかけ、会話をした。親切に英語を教えてくれ、一緒に公園でご飯を食べてくれる人もいた。それは孤独を感じていた僕にとって、とてとてもあたたかい瞬間であった。僕はやはり人と関わるのが好きなのだなどと改めて感じた時間であった。

オーストラリア。そこは、気候は寒かったけれど、人の心はあたたかい国であった。

ここが僕のアナザースカイ。

